

質問(鈴木徳雄議員)大田原赤十字病院移転に向けて、市営バスの運行ダイヤ改正やコース設定について伺います。

答弁(市民生活部長)大田原赤十字病院は、平成二十四年七月に中田原工業団地に移転予定で工事を進めております。建設地付近には「大田原市内循環線の中田原工業団地」と「金田方面循環線の富士電機前」の二か所の停留所がありますが、どちらの停留所からも建設中の大田原赤十字病院までは距離があり、通

院等に不自由な状況が発生すると予想され、市では大田原赤十字病院へ市営バスを乗り入れることで協議を重ねているところでございます。

また、市では大田原市の地域公共交通の現状を把握し、課題の解決を行い、地域公共交通の確保、維持、改善を目指し、地域に最適な移動手段を市民に提供するため、地域公共交通の調査事業を現在実施しております。その中におきましても、大田原赤十字病院の移転は、調査事業

の最重要課題の一つであります。大田原赤十字病院の移転に向けた市営バスの運行方法とダイヤ改正に当たりましては、市営バスの乗降調査や市民アンケートを実施するとともに、直接地元の皆様方のご意見をいただく機会を設けてまいりたいと考えております。その結果、地域公共交通に対しての市民のニーズを把握し、より有効な市営バスの運行方法やダイヤの協議検討を行い、大田原赤十字病院の移転と同時に、市営バスの新たな運行方法とダイヤの改正を行う予定であります。

今後とも大田原市の地域に最適な公共交通を構築すべく努力してまいりたいと考えております。



建設工事が進む大田原赤十字病院

市営バスの運行について



避難訓練の様子(西原小学校)

質問(五十嵐孝夫議員)小中学校でも防災教育を徹底し、定期的な防災訓練を実施することについて伺います。

答弁(教育長)各学校では、火災や地震、台風時の避難方法等を含んだ年間指導計画を作成し、教職員の共通理解のもと、その計画に基づいた組織的な取り組みを進めております。基本的には、特別活動において自ら危険を予知し、安全な生活を送ろうとする自主的、実践的な態度を育てることを目標に、学級活動、

学校行事などが展開されております。特に学校行事では、防犯や火災、地震、交通安全等にかかわる講習会や避難訓練などが多様に行われ、防災教育の核となる大切な学びの場になっております。また、警察署や消防署などの関係機関との連携も図っております。

教科指導においては、社会科では地域社会における災害及び事故の防止などを指導しております。理科では地震や台風の発生などのメカニズムを学習する

とともに、科学的な根拠に基づく防災についての理解を深めていきます。生活科では小学校低学年が登下校の最中にさまざまな事件や事故に出会うことを想定して、安全教育を重視しております。

また、道徳教育においては「生きる力」の要素である豊かな人間性をはぐくむ上で命を大切に、他人を思いやる心や社会貢献の精神、自己抑制力、責任感などが含まれており、これらは安全防災教育の基盤として指導しているところであります。今後教育委員会といたしましては、さらなる防災教育の充実が図られるよう各学校を支援してまいりたいと思っております。

防災教育について